

## 相談援助演習Ⅲ

担当教員 田島 望

配当年次 3年

単位区分 選択

開講時期 第1学期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。①総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。②具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を獲得することができる。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む） ①
2	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む） ②
3	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む） ③
4	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV) ①
5	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV) ②
6	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV) ③
7	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者 ①
8	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者 ②
9	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者 ③
10	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート ①
11	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート ②
12	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート ③
13	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 更生保護
14	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 危機状態（権利擁護活動を含む）
15	ふり取りとまとめ

## 【履修上の注意事項】

- ・相談援助演習Ⅰ・Ⅱを修得済であることを前提とする。
- ・演習形態の授業であるため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加（発言）を求めます。
- ・内容をよく確認し、事前学習および講義内容についての復習を行い次回の講義に参加すること。
- ・これまでに学習してきた演習Ⅰ・Ⅱや関連する科目を活かして取り組むこと。
- ・講義を積み上げて、ねらいの達成、実習の充実を目指すため、出席は必須と考えてください。

## 【評価方法】

演習の参加態度と授業内の課題への取り組み（40%）、課題レポート（30%）、学期末総合課題（30%）により総合的に評価します。

## 【テキスト】

講義内にて、適宜紹介・配布します。

## 【参考文献】

講義内にて、適宜紹介します

## 相談援助演習Ⅲ

担当教員 平川 泰士

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 演習

単位数 2

### 【授業のねらい】

相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができることをめざす。①総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。②個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により実施する。

### 【授業の展開計画】

- 01 シラバス説明。
- 02 児童(虐待を含む)①事例の理解
- 03 児童(虐待を含む)②相談援助場面及び過程の理解
- 04 児童(虐待を含む)③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
- 05 ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）①事例の理解
- 06 ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）②相談援助場面及び過程の理解
- 07 ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
- 08 低所得者①事例の理解
- 09 低所得者②相談援助場面及び過程の理解
- 10 低所得者③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
- 11 ホームレス・ニート①事例の理解
- 12 ホームレス・ニート②相談援助場面及び過程の理解
- 13 ホームレス・ニート③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
- 14 事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 更生保護
- 15 事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 危機状態(権利擁護活動を含む)
- 16 まとめ（面接の過程の理解）

### 【履修上の注意事項】

小集団による話し合いやグループワークを行うので、積極的に参加することを求める。本演習では、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得を前提とし、専門職として就労することを目標にする学生が望ましい。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。

### 【評価方法】

授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、予習復習による自主的学習態度・状況が10%、課題の内容・提出状況・学期末時の課題が40%による総合評価とする。

### 【テキスト】

授業開講時に指示する。

### 【参考文献】

随時、授業時に紹介する。

## 相談援助演習Ⅲ

担当教員 橋本 眞奈美

配当年次 3年

単位区分 選択

開講時期 第1学期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

- ①社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。
- ②相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。
- ③相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	シラバスの説明、児童（虐待・貧困を含む）①事例の理解と実技指導
2	児童（虐待・貧困を含む）②相談援助場面及び過程の理解
3	児童（虐待・貧困を含む）③アセスメントからプランニングまでの理解と実技
4	ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）①事例の理解と実技指導
5	ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）②相談援助場面及び過程の理解
6	ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）③アセスメントからプランニングまでの理解と実技
7	低所得者①事例の理解とアセスメント
8	低所得者②相談援助場面及び過程の理解
9	低所得者③チームアプローチを活用したプランニング
10	ホームレス・ニート①事例の理解とアセスメント
11	ホームレス・ニート②相談援助場面及び過程の理解
12	ホームレス・ニート③社会資源の活用・調整・開発についての理解
13	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 更生保護
14	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 危機状態（権利擁護活動を含む）
15	振り返りとまとめ（面接場面の理解、プランニングに至るまでの過程の理解）

## 【履修上の注意事項】

社会福祉士の相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加すること。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。

## 【評価方法】

授業態度、積極的姿勢から20%  
 課題レポートの提出&内容から30%  
 試験から50%

## 【テキスト】

『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店

## 【参考文献】

必要に応じて配布、もしくは指示する

## 相談援助演習Ⅲ

担当教員 福崎 千鶴

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 演習

単位数 2

### 【授業のねらい】

他の科目との関連性を視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に関わる知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。①総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る付帯的な相談援助事例を体系的に学ぶ。②個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイ等）を中心とする演習形態により実施する。ソーシャルワーク実践力をつける。

### 【授業の展開計画】

- 1回目 シラバスの説明、演習Ⅰ・演習Ⅱの学びの共有、アイスブレイキング、アセスメントシートの説明
- 2回目 児童（虐待を含む）に対する支援について事例を理解する（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 3回目 児童（虐待を含む）の相談援助場面および過程の理解（社会資源の活用）
- 4回目 児童（虐待を含む）の相談援助の実技指導（ロールプレイング、モデリング）
- 5回目 ひとり親家庭・家庭内暴力（DV）の事例を理解する（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 6回目 ひとり親家庭・家庭内暴力（DV）の相談援助場面および過程の理解（社会資源の活用）
- 7回目 ひとり親家庭・家庭内暴力（DV）の相談援助の実技指導（ロールプレイング、モデリング）
- 8回目 低所得者の事例の理解（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 9回目 低所得者の相談援助場面および過程の理解（社会資源の活用）
- 10回目 低所得者の相談援助の実技指導（ロールプレイング、モデリング）
- 11回目 ホームレス・ニートの事例の理解（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 12回目 ホームレス・ニート相談援助場面および過程の理解（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 13回目 ホームレス・ニート相談援助の実技指導（ロールプレイング、モデリング）
- 14回目 更生保護の事例の理解と相談場面を想定した実技指導
- 15回目 危機状態（権利擁護を含む）の事例の理解と相談場面を想定した実技指導 まとめ

### 【履修上の注意事項】

社会福祉士の相談援助場面を想定した実技指導を含む演習形態の授業のため、教員からの発言を求めたりロールプレイングを中心に授業を展開する。また、相談援助職に必要な知識・技術・価値・倫理を修得するため、専門領域の特別講師による講話を取り入れる。

「演習」科目であり、参加型の授業形態ということで、毎回の出席は必須と考えてほしい。

与えられた課題に積極的に取り組み、予習・復習を行い、次の講義に臨むこと。

### 【評価方法】

出席日数が3分の2以上あり、ペーパーテスト50%および授業参加態度（予習・復習を活かした発表等）50%により総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用しない。授業時、適宜、資料を配布する。

### 【参考文献】

授業開講時に指示する。